

破骨型巨細胞を伴う腫瘍の形態分類に基づいた腫瘍抑制機構の解明とターゲット因子同定とその応用に関する研究

2000年1月1日から2018年12月31日までに骨巨細胞腫、軟部巨細胞腫、肝癌、膵癌、肺癌、乳癌、甲状腺癌、尿路上皮癌、腎癌、子宮肉腫、軟部肉腫のために手術を受けた患者さん

研究協力をお願い

当科では「破骨細胞型巨細胞を伴う腫瘍の形態分類に基づいた腫瘍抑制機構の解明とターゲット因子同定とその応用」という研究を行います。この研究は、2000年1月1日より2018年12月31日までに日本医科大学付属病院にて、破骨細胞型巨細胞を伴う腫瘍および肝癌、膵癌、肺癌、乳癌、甲状腺癌、尿路上皮癌、腎癌、子宮肉腫、軟部肉腫の診断目的での生検および治療目的での手術または病理解剖を受けられ、検体が病理に提出された患者さんの病理検体および病理解剖検体を用いた腫瘍発生機序を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもってご同意を頂いたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

(1) 研究の概要について

研究課題名：破骨細胞型巨細胞を伴う腫瘍の形態分類に基づいた腫瘍抑制機構の解明とターゲット因子同定とその応用に関する研究

研究期間：2019年2月25日（倫理委員会承認日）～2028年12月31日

研究責任者：日本医科大学 解析人体病理 寺崎 美佳

(2) 研究の意義、目的について

破骨型巨細胞を伴う悪性腫瘍は全身の様々な臓器で発生し、これらは共通した腫瘍発生機構が存在する可能性が考えられますが、現在様々な臓器から発生したこれらの腫瘍の解析が行われておらず、腫瘍の成り立ちが分かっていません。これらの腫瘍では共通する破骨細胞分化を促すサイトカインが関与している可能性が報告されています。様々な臓器発生した似た病理組織像を示す腫瘍を合わせて研究することにより、共通の腫瘍の成り立ちや腫瘍抑制する因子を明らかにすることを目的とします。

(3) 研究の方法について（研究に用いる試料・情報の種類）

日本医科大学付属病院にて、破骨細胞型巨細胞を伴う腫瘍、および肝癌、膵癌、肺癌、乳癌、甲状腺癌、尿路上皮癌、腎癌、子宮肉腫、軟部肉腫腫瘍のために手術を受けられ、検体が病理に提出された患者さんの病理検体および病理解剖検体を用いた腫瘍発生機序を調査する研究で、これらの腫瘍についての検討を行います。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：診断目的で採取された生検病理組織、手術時に切除した病理検体、病理解剖検体

情報：年齢、腫瘍マーカー、画像所見、白血球、赤血球、血小板、凝固系指標、等

(4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用されません。また、研究発表時にも個人情報は使用されません。その他、「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針（文部科学省・厚生労働省）」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

(5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表します。

(6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学 解析人体病理 助教 寺崎 美佳

〒113-8603 東京都文京区千駄木 1-1-5

電話番号：03-3822-2131（代表） 内線：5236

メールアドレス：contact@1stpathology-nms.org